

住宅用家屋証明申請書

租税特別措置法施行令

(イ) 第41条

特定認定長期優良住宅以外

(a) 新築されたもの

(b) 建築後使用されたことのないもの

特定認定長期優良住宅

(c) 新築されたもの

(d) 建築後使用されたことのないもの

認定低炭素住宅

(e) 新築されたもの

(f) 建築後使用されたことのないもの

(ロ) 第42条第1項 (建築後使用されたことのあるもの)

の規定に基づき、下記の家屋がこの規定に該当するものである旨の証明を申請します。

令和 年 月 日

宇佐市長 是永 修治 あて

申請者 住所 _____
氏名 _____ 印 _____

所在地	
建築年月日	令和 年 月 日
取得年月日	令和 年 月 日
取得の原因 (移転登記の場合に記入)	(1) 売 買 (2) 競 売
申請者の居住	(1) 入 居 済 (2) 入居予定
床面積	m ²
構造	造
区分建物の耐火性能	(1) 耐火又は準耐火 (2) 低層集合住宅

(備考)

- { }の中は、(イ)又は(ロ)のうち該当するものを○印で囲み、(イ)を○印で囲んだ場合は、さらに(a)から(d)のうち該当するものを○印で囲むこと。
- 「建築年月日」の欄は、(b)又は(d)を○印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 「取得年月日」の欄は、所有権移転の日を記載すること。なお、(a)又は(c)を○印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 「取得の原因」の欄は、上記(イ)(b)若しくは(d)又は(ロ)を○印で囲んだ場合に限り、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。
- 「申請者の居住」の欄は、(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。
- 「構造」の欄は、建築後20年超25年以内に取得された家屋について証明を申請する場合に記載し、当該家屋の登記記録に記録された構造を記載すること。
- 「区分建物の耐火性能」の欄は、区分建物について証明を申請する場合に(1)又は(2)のうち該当するものを○印で囲むこと。なお、建築後使用されたことのある区分建物の場合、当該家屋の登記記録に記録された構造が石造、れんが造、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造であるときは、(1)を○印で囲むこと。

住宅用家屋証明書

租税特別措置法施行令	}	(イ) 第41条	}
		特定認定長期優良住宅以外	
		(a) 新築されたもの	
		(b) 建築後使用されたことのないもの	
		特定認定長期優良住宅	
		(c) 新築されたもの	
		(d) 建築後使用されたことのないもの	
		認定低炭素住宅	
		(e) 新築されたもの	
		(f) 建築後使用されたことのないもの	
(ロ) 第42条第1項 (建築後使用されたことのあるもの)			

の規定に基づき、下記の家屋 { 令和 年 月 日 { (ハ) 新築 } } がこの規定に { (ニ) 取得 }

該当するものである旨の証明します。

申請者の住所	
申請者の氏名	
家屋の所在地	
取得の原因 (移転登記の場合)	

※{ }の中は、該当するものをそれぞれ○印で囲む。

令和 年 月 日

宇佐市長 是 永 修 治

申立書

令和 年 月 日

宇佐市長 是永 修治 あて

住所	
氏名	印

この度、私が新築（取得）しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住居の用に供するものに相違ありません。

尚、証明書交付後この申立書に虚偽があることが判明した場合は証明を取消され税額の追徴を受けても異議ありません。

記

建物の表示	家屋の所在地	宇佐市
	家屋番号	
	種類	住宅用家屋
	構造	造
	床面積	m ²
入居予定年月日	令和 年 月 日	
入居が登記の後になる理由		